

第6号 稲作防除特報 (中生・晩生版)

平成30年7月20日
朝 日 町
黒東地域農業技術者協議会

～斑点米カメムシ注意報発令中！被害防止に努めましょう～

収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。

特に、斑点米の要因となるカメムシ類は、本年も畦畔や雑草地で増加していることから、適期防除に努めましょう。

▷コシヒカリ(中生)及びてんこもり(晩生)などの基本防除

		「コシヒカリ」、 「ミルキークイーン」など (中生)	「てんこもり」など (晩生)
1回目 【出穂直前 ～出穂期】	防除日	7月29日(日)～8月1日(水)	8月2日(木)～8月5日(日)
	農薬名	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	
	散布量	4kg/10a	
2回目 【穂揃期】	防除日	8月6日(月)～8月9日(木)	8月10日(金)～8月13日(月)
	農薬名	ラブサイドキラップ粉剤DL (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)	
	散布量	4kg/10a	

※1回目及び2回目防除の間隔は、あけ過ぎないようにしましょう。

※無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

○薬剤散布時の留意点

- ・1回目の防除は、株元に薬剤がかかるように落水状態で散布しましょう。
- ・使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・水田周辺(畦畔や雑草地など)にも、薬剤がかかるように散布しましょう。

○ほ場管理時の留意点

- ・斑点米カメムシの被害を助長する、水田内のノビエやホタルイなどの雑草は抜き取りましょう。
- ・畦畔などの雑草も、斑点米カメムシ類の住みかとなるので、雑草の穂が出ないように管理しましょう。

号外 稲作緊急特報

平成30年7月20日
黒東地域農業技術者協議会

高温が続いており、8～9月もかなりの高温が予想されており、白未熟粒による品質低下が懸念されます【高温登熟の恐れ】。

このため「コシヒカリ」の葉色が薄い(4.2以下)場合は、追加穂肥を施用し、白未熟粒の発生を防止しましょう。

また稲が水分不足にならないよう、出穂期までは「飽水管理」、出穂から20日間は「湛水管理」を徹底しましょう。

1. 「コシヒカリ」の追加穂肥 (基肥一発肥料体系のみ)

7月24日頃(出穂9日前)に、葉色が4.2(洪積土の場合4.0)※以下で、LPSSコシヒカリ1号などの基肥一発肥料を使用した場合は、施用しましょう。※高温年の基準を適用

施用時期	肥料名及び施用量
7月24日(火) ～ 7月28日(土)	「追肥3号」など 穂肥用の肥料 7kg/10a

※洪積土の地区:笹川、南保、山崎、大家庄(朝日町)野中、舟見(入善町)

2. 水管理について

○出穂までの管理・・・飽水(ほうすい)管理

間断かん水より落水期間を短くし、落水時には足跡に水が残る程度のヒタヒタ水状態を保ちましょう。ただし、4日以上水がたまっていたら落水する。

○出穂後の管理・・・出穂から20日間は湛水管理

水を切らさない。ただし、ためっぱなしにせず、冷たい水をこまめに入水する。

※かけ流しは、絶対にしないでください。

◎フェーンなどによる高温が予想される場合は、事前に入水しましょう。

◎みらーれTVで農業情報番組「あぐりアイ新川」放送中!(6:55、13:55、23:55)

◎NHKラジオ第一で、「農作業メモ」放送(月～金の11:50～12:00のうち1分間。祝祭日を除く)